

韓国の伝統語り芸

판소리

の世界を旅する

唱者

安聖民 (アン ソンミン) 안성민 Ahn Sung Min

鼓手

趙倫子 (チョ リュンジャ) 조륜자 Cho Ryoonja

入場無料

日本語解説・字幕付き上演

申込不要

2018 年 1 月 22 日 (月) 16:30~19:00

静岡大学 大学会館ホール

韓国の伝統語り芸“パンソリ”の世界を旅する

パンソリとは？

チャンヂャ コ ス

一人の唱者が鼓手の叩く太鼓の伴奏に合わせて、歌とせりふ、身振りで物語を語っていく伝統芸能。2003年にはその独創性と優秀性が認められ、ユネスコ第2次「人類口伝および無形遺産傑作」に選定された。古典演目として「春香歌」^{チュニャンガ}、「沈清歌」^{シムジョンガ}、「興甫歌」^{フンボガ}、「水宮歌」^{スグンガ}、「赤壁歌」^{チョッピョッカ}の五つが現存する。唱者は多くの登場人物を一人で演じ分け、伴奏者の鼓手は合いの手を入れながら状況によってリズムを変え、物語を展開させていく。

プログラム

1. 短歌
2. パンソリ「水宮歌」
3. パンソリ「興甫歌」
4. 民謡
5. トークセッション

演目のあらすじ

『水宮歌』 水宮の竜王が原因不明の病にかかった。唯一地上に住むウサギの肝が薬になると言われる中、ただ一人名乗り出たのは忠義者のスッポンだった。スッポンはウサギの絵を手にも地上に赴き、やっと出会ったウサギを水宮に連れ帰るが…。

『興甫歌』 昔、兄ノルボと弟フンボの兄弟が暮らしていたが、正直者の弟フンボは意地悪な兄ノルボに家から追い出されてしまう。フンボは、ある日巣から落ちたツバメの子を助けた。お礼に受け取ったひょうたんを割ると中から金銀財宝があふれ出した。それを知ったノルボは…。

唱者：安聖民（アン ソンミン）

大阪市生まれ。私立関西大学文学部史学・地理学科卒。1998年韓国留学。2002年漢陽大学音楽大学院国楽科修士課程修了。重要無形文化財第5号パンソリ「水宮歌」技能保有者・南海星先生に師事し、2016年履修者認定。2013年第40回南原春香国楽大典・名唱部にて審査員特別賞受賞。2016年「水宮歌」完唱公演。

鼓手：趙倫子（チョ リュンヂャ）

大阪府生まれ。韓国東亜大学校日語日文学科修士課程修了。2008年より民族文化牌マダンにて活動。主に楽士担当。

2018年1月22日(月) 16:30-19:00

静岡大学 大学会館ホール（静岡市駿河区大谷836）

申込不要 入場料無料

交通案内

JR静岡駅北口の8B番乗り場から美和大谷線「静岡大学」行き、「東大谷」（静岡大学経由）行き、「ふじのくに地球環境史ミュージアム」（静岡大学経由）行きに乗りし「静岡大学」又は「静大片山」で下車（所要時間25分、1時間に5～7本運行）。

大学会館は、構内の「中腹」にあります(バス停から10分程度)。



主 催：静岡大学地域創造学環

問い合わせ：山本崇記（054-238-4500, yamamoto.takanori@shizuoka.ac.jp）